

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

おう

王さまダビデ

(その2)



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Lazarus

かいさくしゃ

改作者: Ruth Klassen

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children

www.M1914.org

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2007 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



おう

ダビデは、ユダの王さま
となりましたよ。

ちょうどパレスチナの

みなみ ち

南の地です。でも、
のこりのイスラエルの
とち

土地は、みんなサウル

こ

の子イシュボセテのも
のでした。イスラエル

ふたり

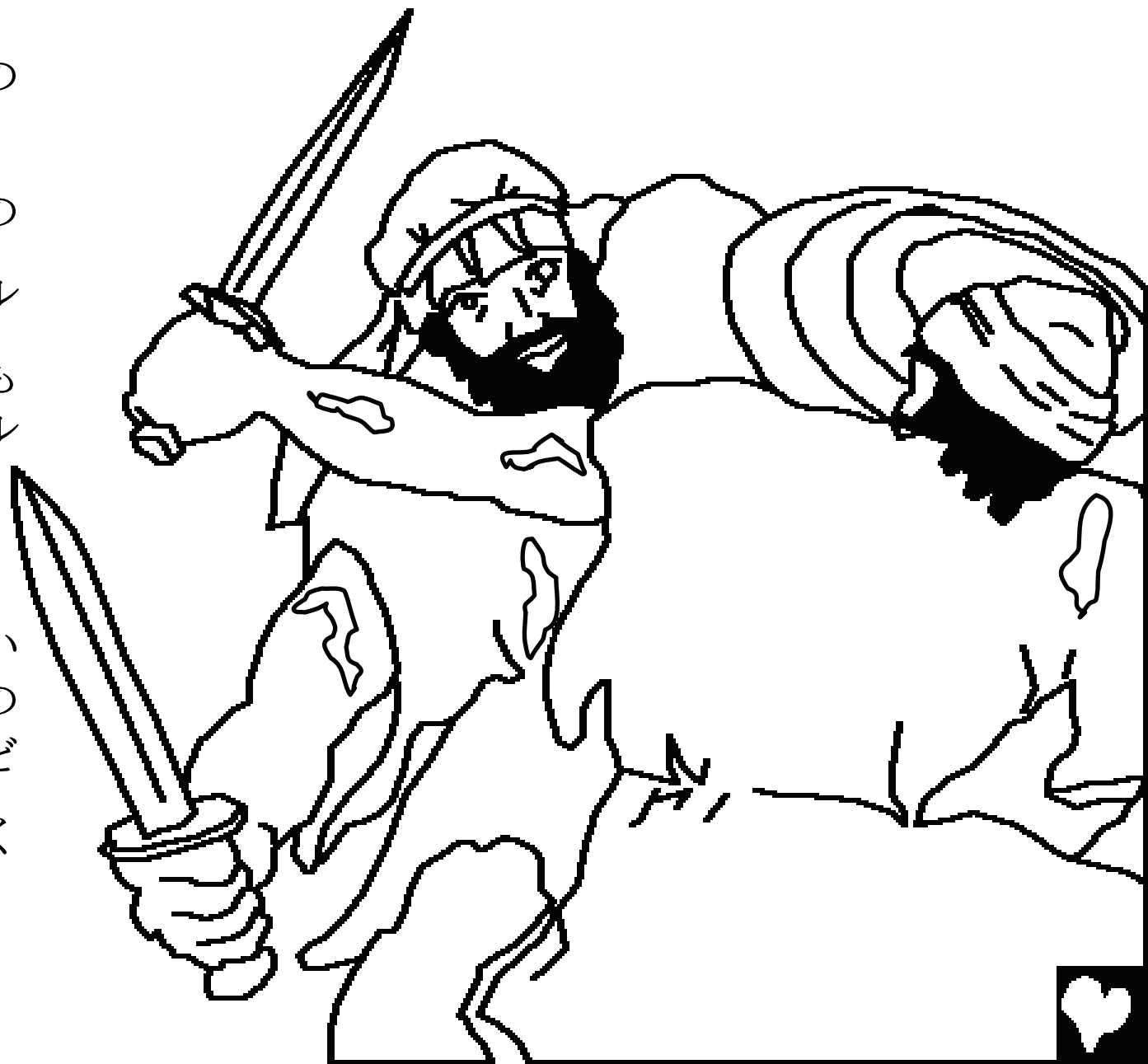
での2人のたたかいは、
とてもはげしく、

ねん

7年ものあいだつづいた
のです。さて、その
あいだにダビデは ど

つよ

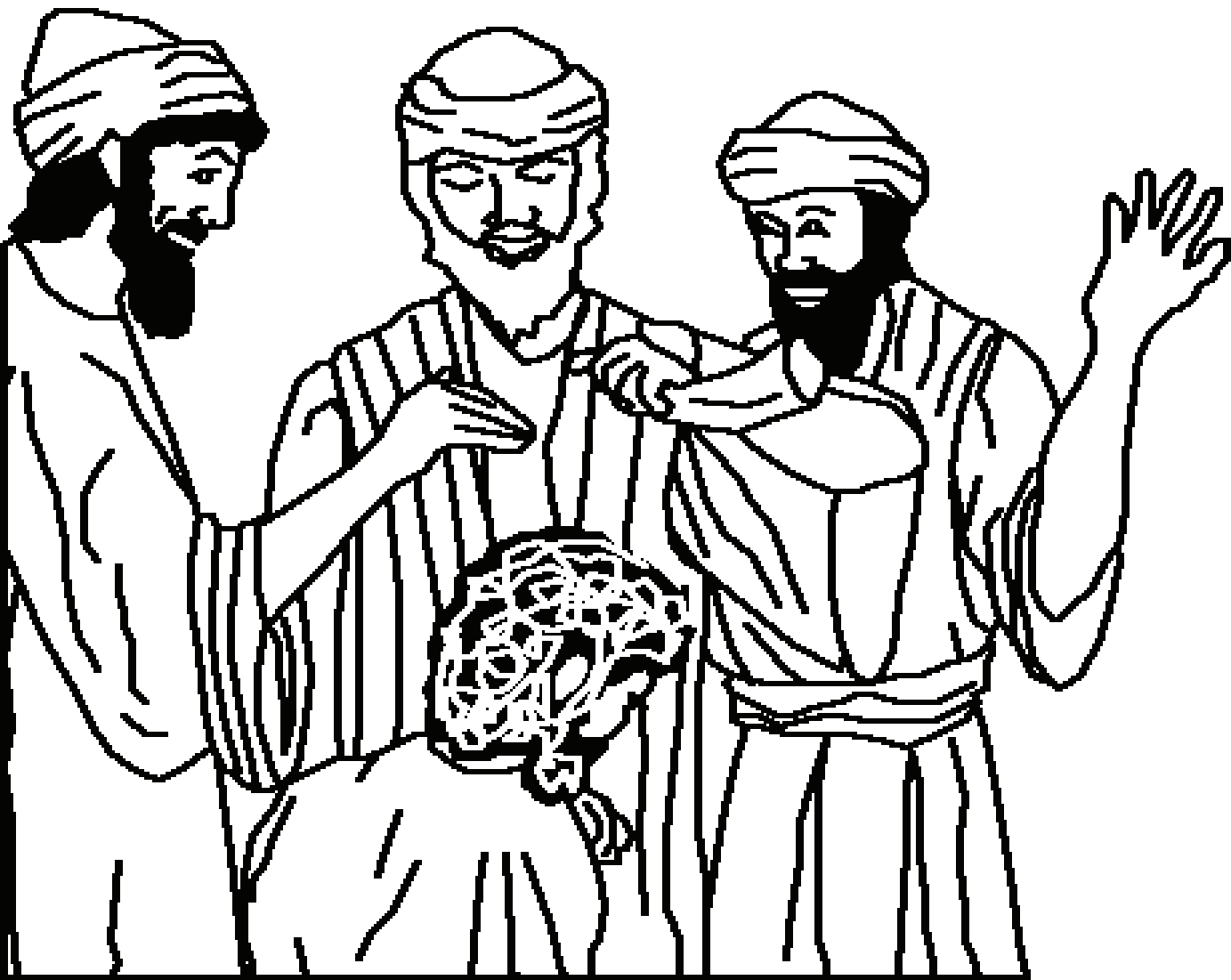
んどん、どんどん強くな
っていきましたよ。



あるとき、イシュボセテ王は、と
おう
じぶん ふたり へいし
うとう自分の2人の兵士にころさ
れてしまいました。

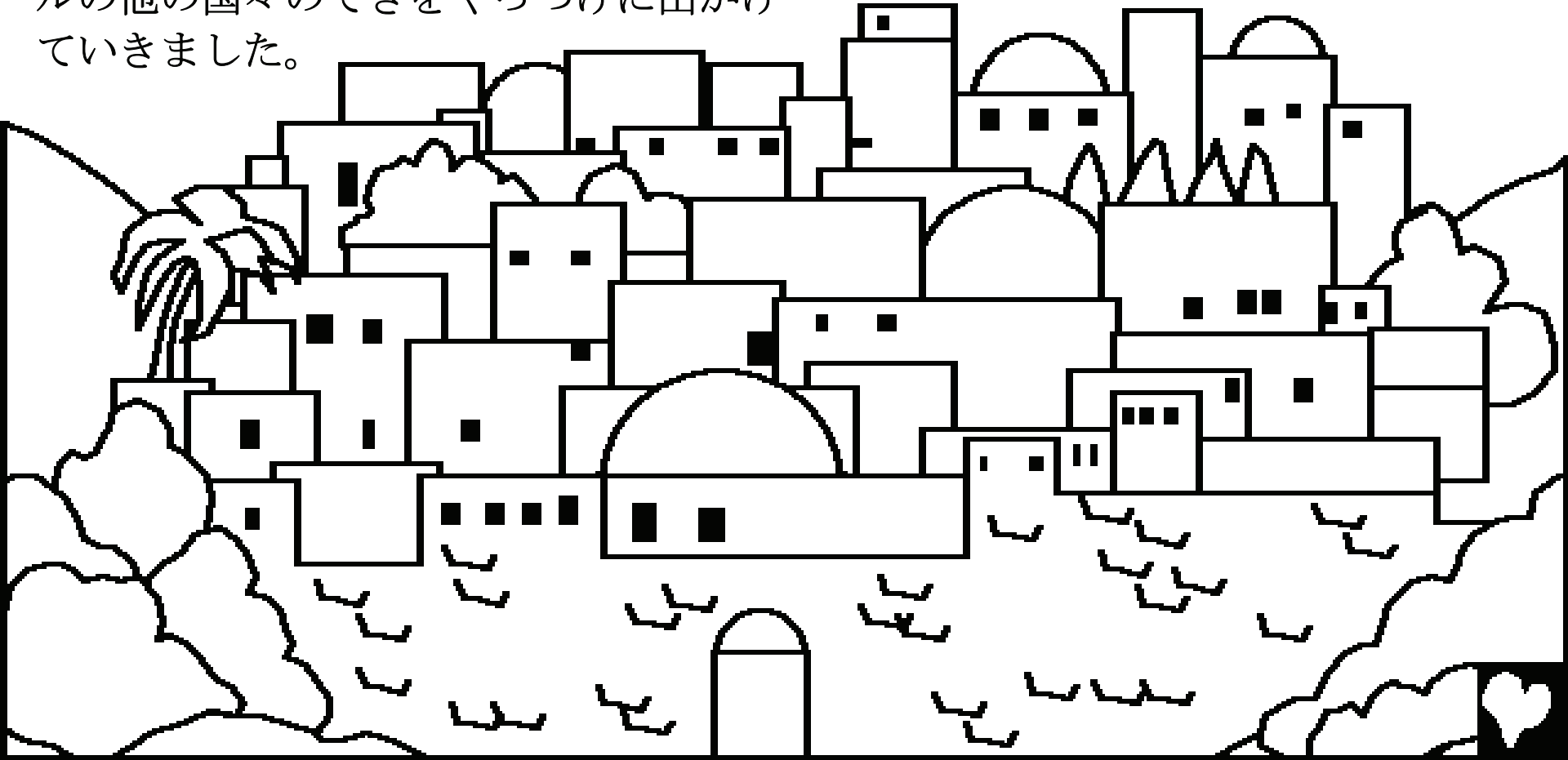


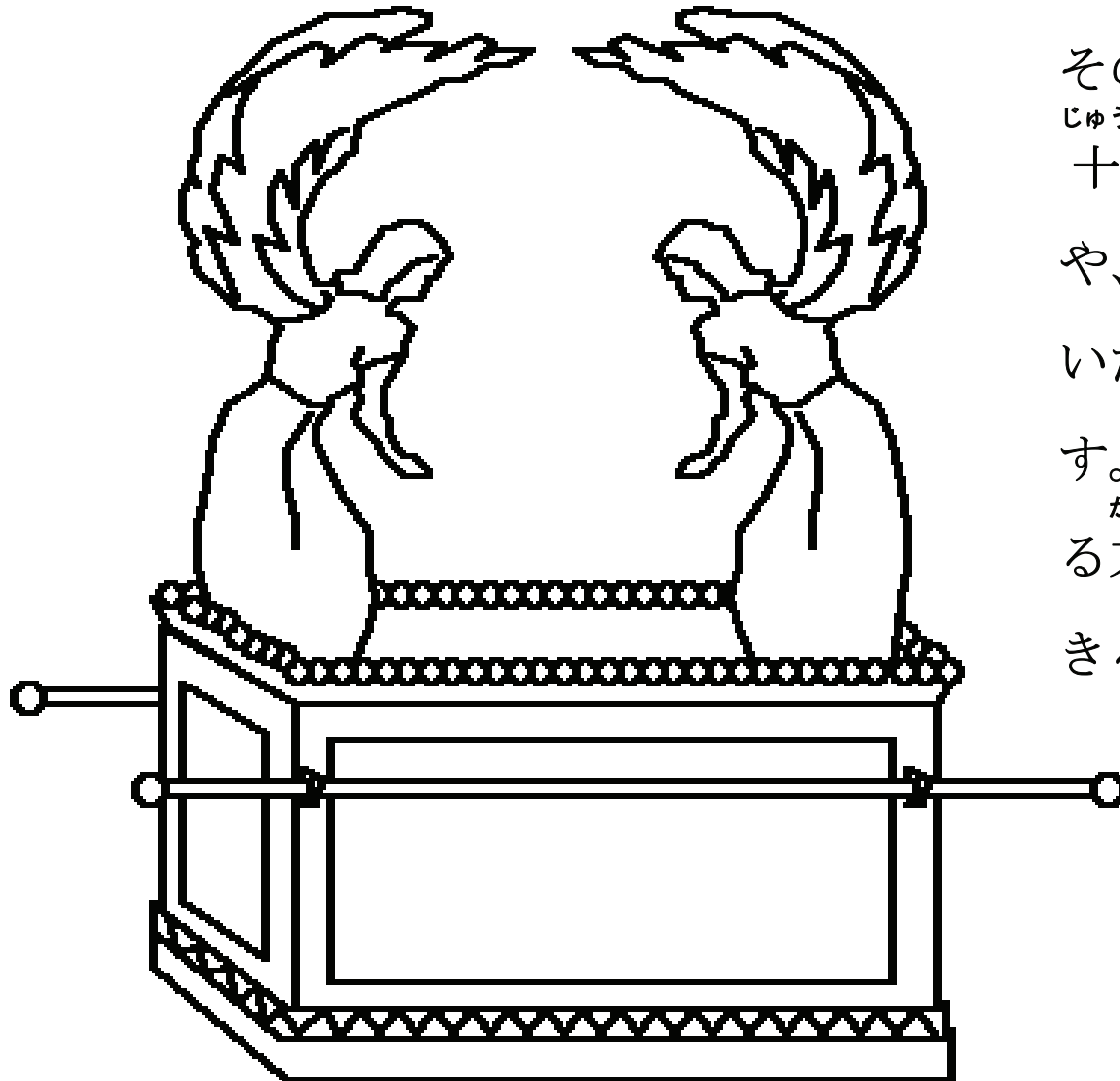
すると、イスラエルのすべての12の部族がみんなダビデのところにあつま^{ぶぞく}って
きて、こう言^いいました。「われわれの王^{おう}だ、イスラエルの王^{おう}さまだ！」って。そ
れからず^{くに}っと、ダビデは、このイスラエルのすべての国^{おう}の王さまでした。



みやこ

さて、ダビデがいちばんはじめにしたことは、エルサレムに都をうつすこと
した。その町は、のちにダビデの町としてみんなに知られるようになりました
よ。ダビデは、ここを、どんな強いてきが攻めてきてもだいじょうぶなように、
たてなおしました。ダビデの軍たいは、いつもここから、ペリシテ人やイスラエ
ルの他の国々のてきをやっつけに出かけ
ていきました。





おう
ダビデ王が、そのつぎにしたこ
かみ
とは、神のはこを、エルサレム
にはこんでくることでした。

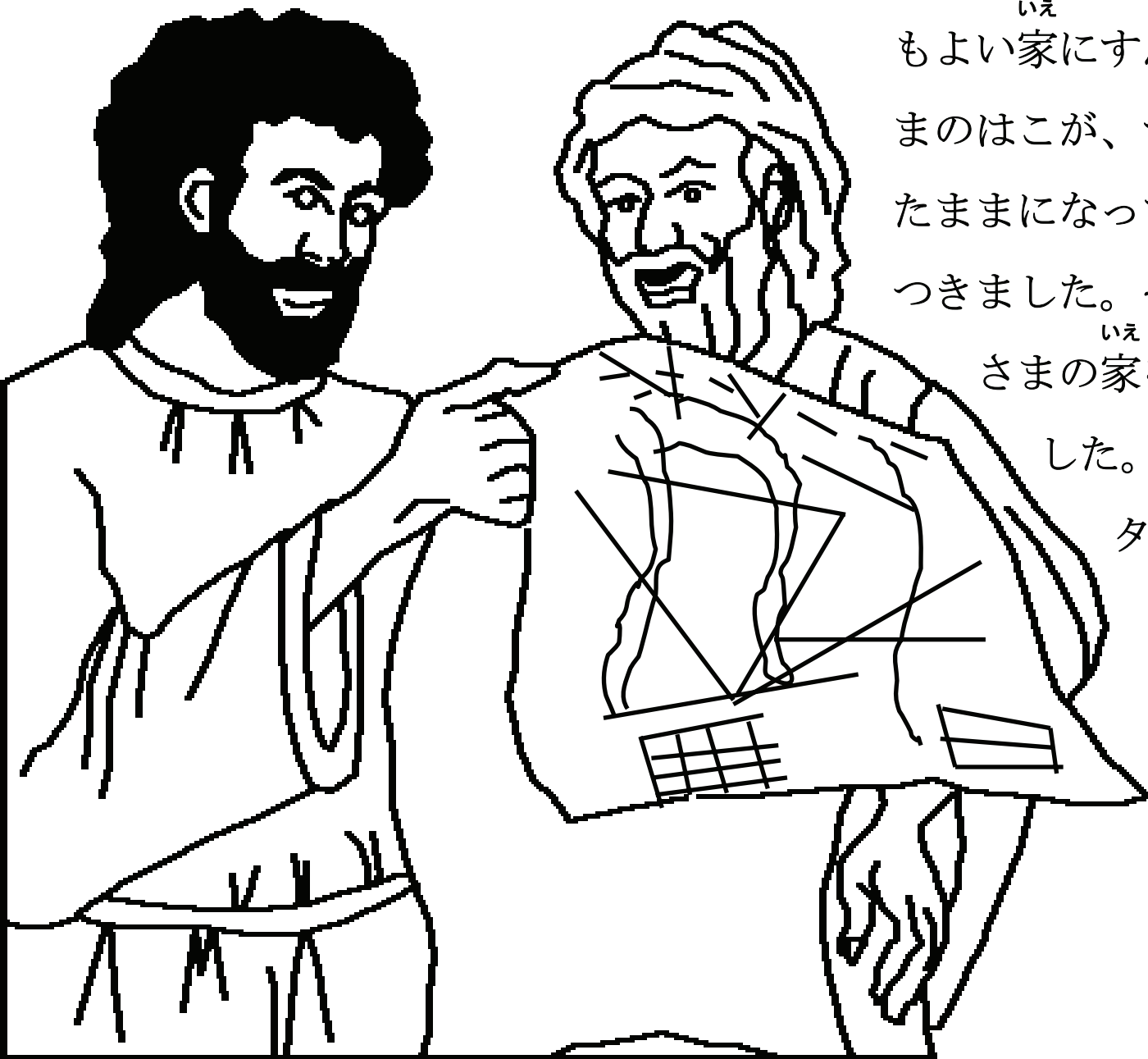
かみ かみ
その神のはこには、神さまの
じゅう か
十のやくそくが書かれたもの
かみ
や、モーセが神さまからいただ
もの はい
いたそのほかの物も入っていま
かみ せい
す。そのはこは、神さまが聖な
かた かみ い
る方で、神さまにしたがって生
ひとびと
きることを、イスラエルの人々
おも だ
に思い出させました。





おう
ダビデが王さまになってから、
はじめてのころは、まいにち戦^{たたか}いばかり
でした。ダビデは、とてもかしこい
へいし^{けっ}兵士であり、それに決していばらない
ひと^{かみ}人でした。かれは、「神さま、
どうすればいいのですか。
おしえてください。」と、
いっも^{いの}祈っていました。





あるとき、ダビデは、自分^{じぶん}がとて^{いえ}もよい家^{かみ}にすんでいるのに、神^{なか}さまのはこが、テントの中^きにおかれ^{かみ}たままになっていることに、気が^{かみ}つきました。そこで、ダビデは神^{いえ}さまの家^きをたてようと決めま^{かみ}した。神^{しゃ}さまのよげん者^いナタンは、言いました。「ダビデさま、どうぞそ^いうなさ^いってください。」





でもね、その夜、神さま
は、ダビデに神のことば
をつたえられましたよ。
それは、このようなも
のでした。「わたしの
しもべダビデよ、主
が、あなたに家をつ
くってくださるのだ。
あなたのこの世での生活
がおわり、あなたの父や
祖父といっしょになったとき、
わたしは、あなたの子をつぎの王
とするつもりだ。その子は、わたしの名によって家をたて、その国はずっとつづ
いていけだろ。またいつまでも王の位をあたえるだろ。」



ダビデは、もしサウルの家ぞくが生きのこっているなら、助けたいと思いま
した。さがしているうちに、ただひとりヨナタンの子メフィボシエトだけ、見つけ
ることができました。かれは、足が悪くあるくことができません。「メフィボ
シエト、あなたは王のむすこのようなもの。さあ、わたしのテ
ーブルでいっしょに食事をしよう。」

このように言って、ダビデはメフィボ
シエトにほんとうにやさしくしてあ
げました。どうしてって、
かれはダビデのいちばん
なか
仲よしヨナタンのむす
こですからね。





ダビデは、こころから神さまを信じ、
したがって生きていました。だから、
神さまは、いつもダビデを助けてくださり、
すべてがうまくいきましたよ。
ところがある日、ダビデは、とつぜん
とても悪いことをしてしまうのです。
そのときちょうど、かれの軍たいは、
戦いに出かけてしまい、ダビデだけが
エルサレムにのこっていました。





ある夜のこと、ダビデはどうしても眠
れませんが、かれは家のいちば
ん上まであがり、ぼんやりと町のよう
すをながめていました。



「おやっ、いったいだれなのだろう。」ダビデは、そこから見たとてもうつく

おんな ひと き じょ

しい女の人が、気になってたまりません。かの女は、

みず ひと な
水あびをしていますよ。その人の名は、バテシバ。

す
すっかりバテシバが好きになってしまったダビ

じょ おと つみ
デは、かの女に夫があるのに、とうとう罪をお

おと
かしてしまったのです。じつは、バテシバの夫

ゆう へいし
ウリアは、ダビデの勇かな兵士のひとりでした。

しばらくして、バテシバは、おなかにダビデの

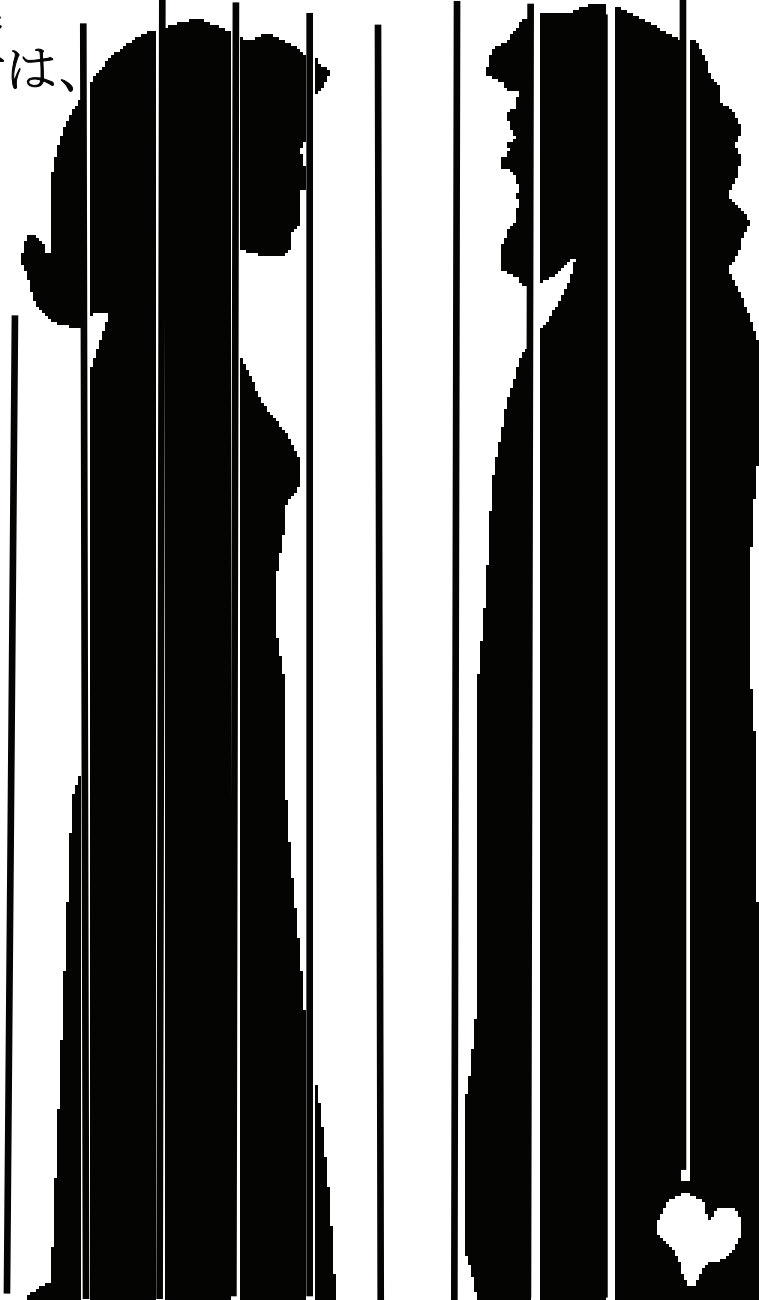
こ はな
子がいることを話しましたよ。さあ、たいへん

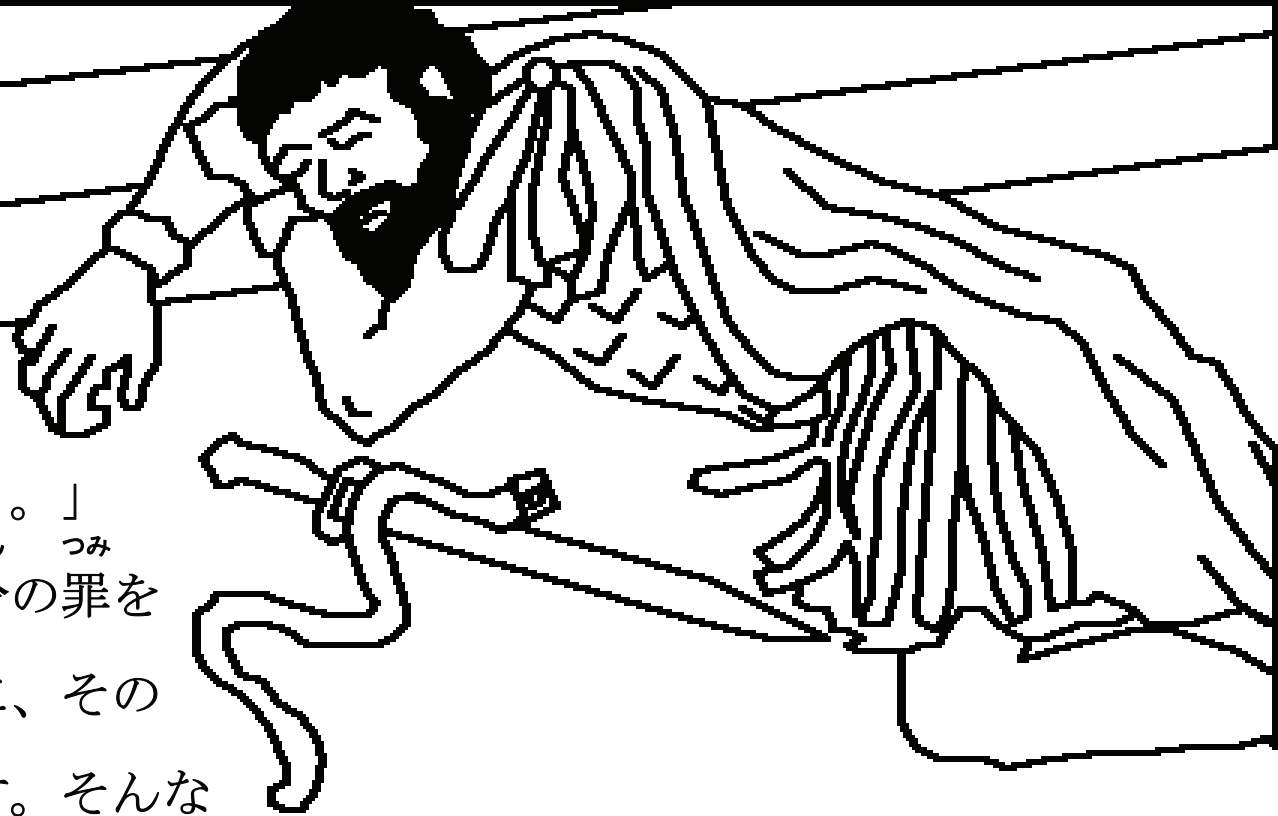
じぶん つみ
なことになってしまいました。ダビデは、
自分の罪がもっともつとやっかいなこと

になってい

くのがわかり

りました。





「なんとかしなければ・・・。」

おも そう思ったダビデは、じぶん つみ 自分の罪を
かみ 神さまにあやまるかわりに、その
つみ 罪をかくそうとしたのです。そんな
わる 悪いことは、

たたか ち うまくいくはずがないのにね。とにかく、ダビデは戦いの地にい
よ い いえ やす るウリアを呼び、こう言いました。「家にもどって、ゆっくり休むように。」そ
じよ あか じぶん れは、ウリアがバテシバとすごすと、かの女のおなかにいる赤ちゃんを、自分の
こ おも いえ やす 子と思うだろうとかがえたからです。ところが、ウリアは家でゆっくり休みた
へいし たたか くありません。なぜなら、かれのなかまの兵士が、戦ってるのですからね。

よる おう いえ と ウリアは、その夜、王の家の戸のところで、ねむりました。



そこでダビデは、もっともつと
わる
悪いことをしてしまったので
す。ダビデは、ウリアが戦い
ち
の地にもどるとき、軍のリー
ぐん
ダーにてがみをもたせたので
か
す。そのてがみには、こう書か
たたか
れていました。「戦いあいだ
ころ
に、かならずウリアを殺すの
ころ
だ。」とね。ウリアが殺され
じぶん
て、ダビデはバテシバを自分の
おくさんにしたのです。



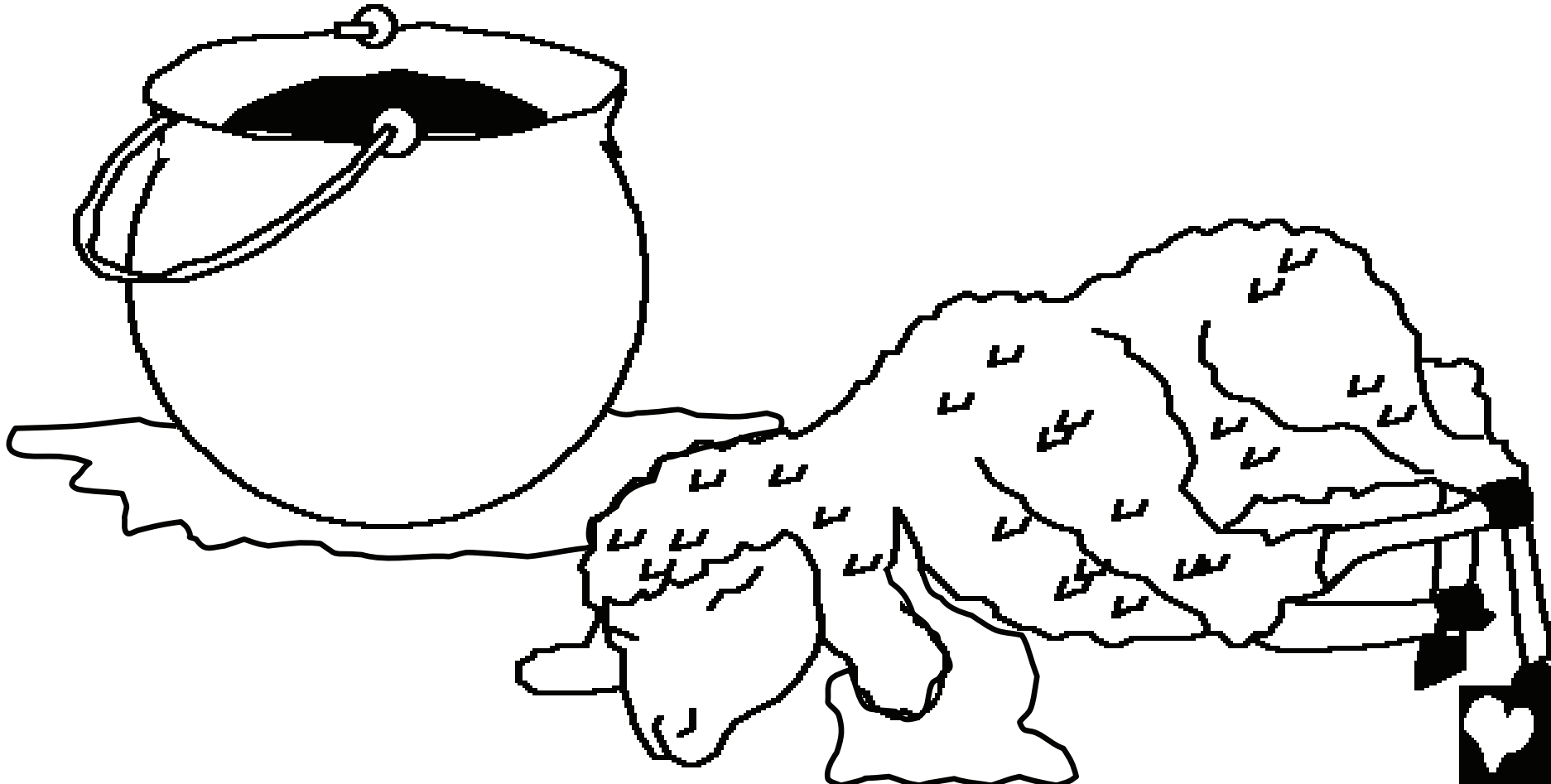
かみ 神さまは、しもベナタンに言われました。「ダビデに、かれのおかした罪を教え
つみ おし
てあげなさい。」そこで、ナタンはダビデにひとつのお話をしました。たいへ
はなし
んなお金もちの人と、まず ひと はなし かね
貧しい人のお話ですよ。お金もちは、たくさんのヒツジ

をもっていました。けれども、まず
まず
貧しいひとは、

たった1ぴきの子ヒツジしかいません。貧しい
まず
ひと こ じぶん
人は、その子ヒツジをまるで自分の
のむすめのように、だいじにして
いました。



あるとき、ひとりのたび人が、お金もちのところに行ってきました。けれども、
そのお金もち^{かね}は、たび人^{びと}にごちそうするため、かれのヒツジを1ぴきもころさな
かったのです。そのかわり、お金もち^{かね}は、貧しい人^{まず}の1ぴきしかいない子^こヒツジ
を取って、ころして、たび人^{びと}にごちそうしたのです。





ダビデはおこりました。「その金も^{かね}
ちは、なんて悪いやつだ！」そして^{わる}
さげびました。「そんなことをする
やつは、きっと死^しんでしまうこと
になるだろう。」



「ダビデさま、あなたこそ、その悪いやつなのです。」ナタンは、ゆう気をだ
してダビデに、きっぱりこう言いました。ダビデのやったことは、この金もち
がやったことより、もっともつと悪いことなのですからね。





かみ おし
神さまは、ダビデに教えられました。
ダビデのしたことは、どんな
にひどいことかということ。そ
れでダビデは、自分のおかした罪
じぶん つみ
がよくわかり、心から神さまにあ
こころ かみ
やまりました。「神さま、わたし
はあなたにそむいて、こんなにも
わる
悪いことをしてしまったのです。
かみ
どうぞ、おゆるしてください。」神
つみ
さまは、ダビデの罪をゆるし
てくださいましたよ。けれど
あか
も、バテシバの赤ちゃん
びょうき う
は、病気になり、生まれ
し
てからすぐに死んでし
まいました。





かみ
神さまは、ダビデのそのひど
つみ
い罪をゆるしてくださいまし
た。しばらくして、バテシバ
つき こ
に次の子ができました。その
こ な
子の名は、ソロモン。かれ
が、ダビデのあとすばらしい
おう
王になるのです。ダビデは、
こ
それからもたくさんの子をあ
たえられましたよ。でも、
なんにん こども
何人かの子供たちは、ダビデ
をととてもかなしませること
になるのですけれど。



おう
王さまダビデ (その2)

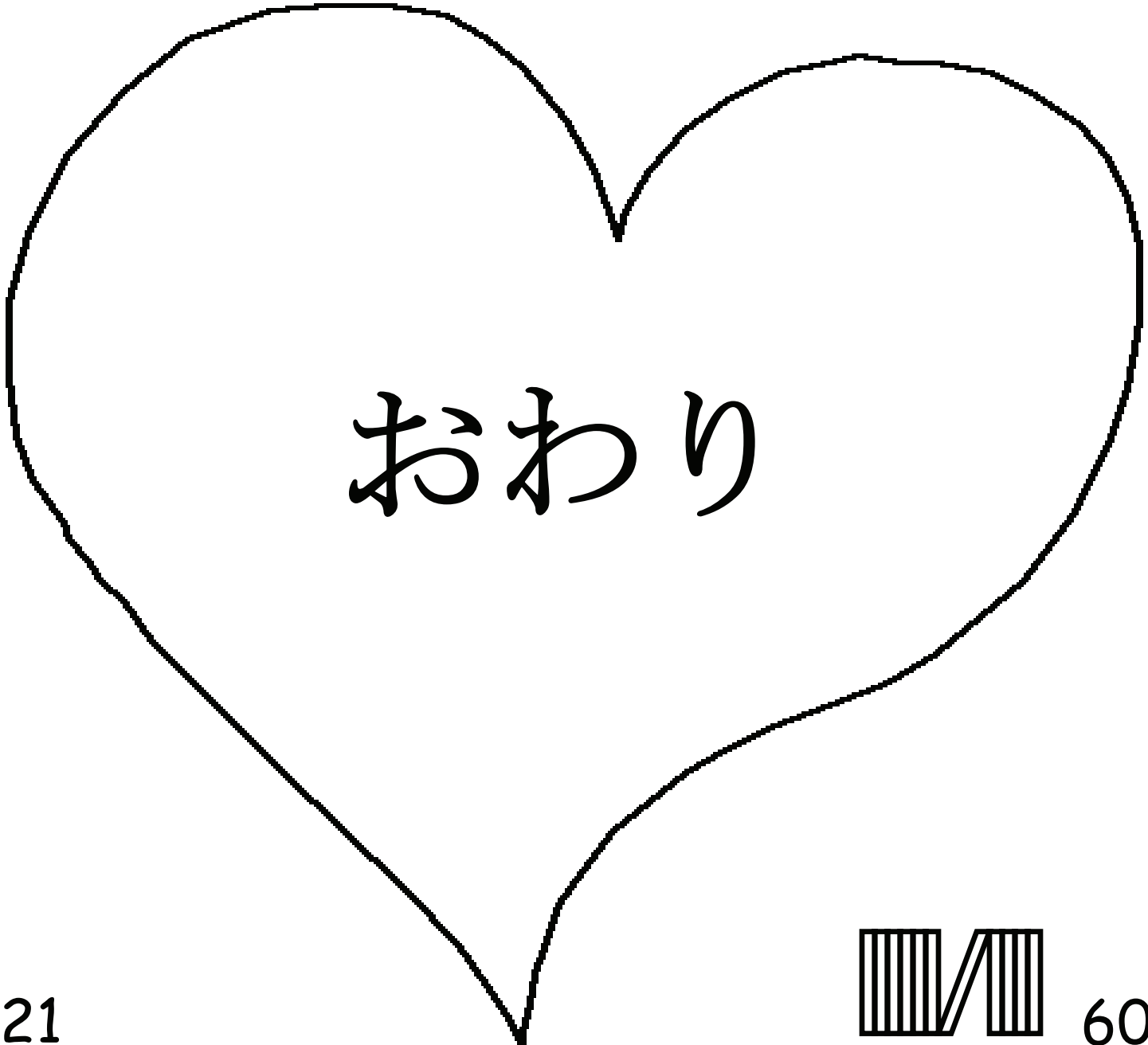
かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

げ しょう しょう
サムエル記下 1 章 -12 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130





おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っています。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとて愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ つみ し
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしやいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

